



SAGA



CSO guidebook

“志”を持ったCSOが集まり活躍する佐賀県

「SAGA×CSO guidebook」を
手に取っていただいた方へ

この冊子をきっかけに

佐賀県が行うCSOの誘致活動について知っていただき
誘致CSOとの協働について考えていただければと思います。

「誘致CSOについて知りたい!」

「誘致CSOと一緒に活動してみたい!」など

皆様からのご連絡をお待ちしています。

佐賀県 県民環境部 県民協働課 協働社会推進担当

〒840-8570 佐賀県佐賀市城内1丁目1-59

お問い合わせ

TEL 0952-25-7374 FAX 0952-25-7561

✉ kenminkyoudou@pref.saga.lg.jp

 佐賀県
SAGA PREFECTURAL GOVERNMENT

☑ 地域活性化のための県外CSO誘致

誘致CSOは県外で培ったノウハウを活かし、県民の皆様に対して行政ではできない細やかなサービスの提供を行っています。また、県内CSOと誘致CSOがお互いのできることを持ち寄りとともに活動を行うことで、県民の皆様により大きな範囲で、より細かいサービスの提供を行った事例もあります。

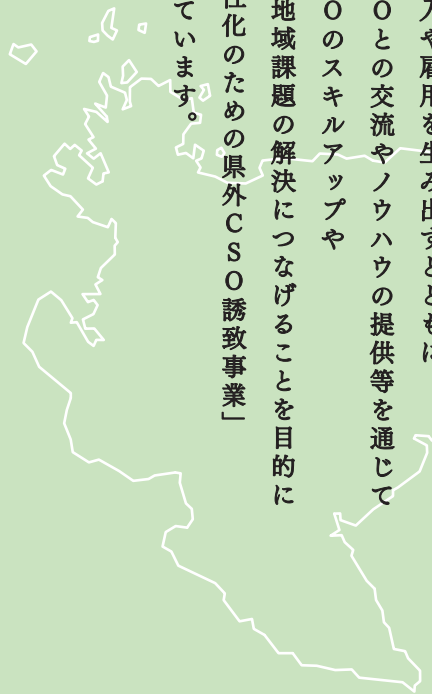


誘致CSOのメリット

- 1 県や佐賀未来創造基金から進出のための各種サポートを受けることができる!
- 2 CSO活動が盛んな環境を生き、県内の自治体やCSOとコラボした新たな事業を展開できる!
- 3 ふるさと納税や企業版ふるさと納税のしくみを活用した効果的な資金調達ができる!

“志”を持ったCSOが集まり活躍する佐賀県

地域の課題解決を図り、県民の皆様が暮らしの満足度を向上させるためには、行政だけでなく、CSO(※)等の多様な主体が公共サービスを担っていく必要があります。こうした視点から佐賀県では、様々な分野でトップランナーとして活躍している県外のCSOを誘致することにより、人材の流入や雇用を生み出すとともに、誘致CSOとの交流やノウハウの提供等を通じて県内CSOのスキルアップやさらなる地域課題の解決につなげることを目的に「地域活性化のための県外CSO誘致事業」を実施しています。



災害

- ピースウィンズ・ジャパン
- 日本カーシェアリング協会
- 難民を助ける会 (AAR JAPAN)
- ジャパンハート
- 日本レスキュー協会
- Civic Force

子ども障害者

- ダイアログ・ジャパン・ソサエティ
- ブリッジフォースマイル
- こども宅食応援団

福祉

- 市民福祉団体全国協議会

教育

- 地域・教育魅力化プラットフォーム

国際紛争

- テラ・ルネッサンス

☑ 佐賀県ならではのCSO支援

佐賀県に進出するCSOに対しては、事務所の開設から人脈づくりまで、県と(公財)佐賀未来創造基金がしっかりとサポートします。特に、佐賀県にはCSOがふるさと納税制度を活用して資金調達をできる仕組みや、誘致CSOが県内CSOと連携して事業を行った際に補助金が出る制度があり、資金調達の面からもCSO活動を支援しています。

※ CSOとは、Civil Society Organizations(市民社会組織)の略で、佐賀県ではNPO法人、市民活動・ボランティア団体(以上志願組織)に限らず、自治会・町内会、婦人会、老人会、PTA(以上地縁組織)といった組織・団体も含めて、「CSO」と呼称しています。

これまでに誘致したCSOは合計12団体(令和3年12月31日現在)。活動分野も、災害支援、福祉、子ども・障害者の支援、国際理解、教育など多岐にわたります。

詳しくはコチラ!



大町町で開催した避難所体験会でパーティションと簡易ベッドを設営

公益社団法人 Civic Force

大規模災害時の支援のため、プラットフォームを構築し、被災・復興時に必要な物資を備蓄、移り変わる被災者のニーズに沿った支援をいち早く現地に届けています。

佐賀県佐賀市松原1-3-5 まるなかビル6F TEL 0952-20-2900



代表理事 根木佳織さん



「今」必要な支援を届ける 平時から連携し、

地域・行政・企業などの災害対応組織と平時から連携体制を構築し、被災した地域に迅速に支援する「Civic Force」。災害発生時に被災地・被災者のニーズに合った支援をいち早く届けるための必要な物資の備蓄・管理だけでなく、物資同様に重要となる「情報」を共有するため、行政をはじめ様々な団体と連携体制を整えています。また自然災害の被害による復旧・復興支援や避難所の開設訓練などの災害に備えたイベント企画や実施、他団体との協働事業として、新型コロナウイルス感染症による差別に苦しむ方からの相談を受け付けるホットラインの開設、医療機関への備蓄マスクの提供なども行っています。災害のない平時から様々な行政や団体と連携し、災害時に迅速により多くの方々に「今」必要な支援を佐賀から届ける。そんなモデルケースづくりを目指し活動しています。

わたしたちの強み

CSO団体や企業、政府、行政と日頃から連携し、情報共有をすることでいち早く被災地へ必要な支援を届けることができます。

県内市町・CSOと連携するなら

“子ども”や“高齢者”など分野を越えたつながりを持ち、それぞれの団体と防災の備えとなる取り組みをしたいです。

特定非営利活動法人ダイアログ・ジャパン・ソサエティ

障害のある方のアテンドで体験するソーシャルエンターテインメントを通じて、多様性を知ると共に、それぞれの活躍の場を広げる活動を行っています。
佐賀県唐津市京町1783 KARAE2F(MEME内) TEL 080-4382-4439



詳しくはコチラ!



私たちは、純度100%の暗闇の中で、視覚障害者のアテンドでコミュニケーションを楽しむ「ダイアログ・イン・ザ・ダーク(DID)」、聴覚障害者と共に、音声に頼らずに対話する「ダイアログ・イン・サイレンス」といったソーシャルエンターテインメントを通して、年齢や国籍、身体的ギャップなどを取り払った、多様性を認め合う社会形成を目指しています。幼い頃からの体験が大切だと考え、2021年11月に子ども達5000人の無料体験をスタート。さらに、2022年1月には、暗闇で伝統工芸を味わう「唐津焼・イン・ザ・ダーク」を開催し、佐賀の優れた文化をお伝えする地域活性化事業にも取り組む予定です。今後は佐賀県内やオンラインで体験できる機会も設け、多くの方に活動を知っていただくと共に、佐賀在住の障害者が活躍する場の拡大にもつながっていきたくと考えています。

わたしたちの強み

佐賀の伝統工芸や自然の恵みを取り入れたDID体験で、感性の広がり多様性のある社会への理解を深めることができます。

県内市町・CSOと連携するなら

イベント体験の楽しさと佐賀の良さを多くの方にお伝えし、障害者の雇用機会の創出にもつながるよう、協力して活動の場を広げていきたいです。



五感が大満足する佐賀の良さを 最大限に活かした体験を



理事 向谷 一さん



認定NPO法人 難民を助ける会 (AAR Japan)

「困ったときはお互いさま」の精神で、紛争や災害などの困難に直面した人々へ必要な支援を届け、弱者が取り残されないような社会の実現に努めています。

佐賀県佐賀市白山1-4-28 佐賀白山ビル303 TEL 0952-37-5380

佐賀事務所 スタッフ
坂口佳穂里さん

自然災害や紛争、障がいにより困難な状況に置かれている人々に必要な支援を届け、啓発活動などを行う国際NGO 団体「AAR Japan」。いつ、私たちが難民になってもおかしくない。だからこそ「困ったときはお互いさま」という日本ならではの精神に基づき、政治・思想・宗教に偏らず、これまで世界65カ国以上の国や地域の人々に支援を届け、現在は日本をはじめ14か国での支援活動を行っています。2016年に開設した佐賀事務所では、現在起きている難民問題などについて小学生から一般の方までの幅広い世代に向けた出前授業を行っている。貧困問題などを身近に感じてもらうためのイベント開催やブース出展、自然災害で被災した地域への炊き出しなど、行政や教育機関、企業などと連携しながら活動しています。

わたしたちの強み

政治や宗教に捉われず、一人の人間として公平に、支援の届きづらい弱い立場の人たちへ、必要な支援を届けています。

県内市町・CSOと連携するなら

既にある防災や災害対応のネットワークを活かしながら、様々な暮らしや想いを伝えていきたいです。



日本の善意の伝統を胸に、
難民となった人たちを救いたい



詳しくはコチラ！



本部

認定NPO法人ピースウィンズ・ジャパン

「必要な人々に、必要な支援を」をモットーに、国内外のさまざまな社会課題に取り組んでおり、佐賀では「地域創生事業」として伝統工芸支援を行っています。佐賀県佐賀市松原1-3-5 まるなかビル6F TEL 0952-20-1607

詳しくはコチラ！



佐賀事務所

国内外でさまざまな社会課題に取り組むピースウィンズ・ジャパンが、日本国内の地域活性化を目的として立ち上げた新事業のひとつが、「ピースクラフツSAGA」です。佐賀には全国的に人気の高い有田焼や伊万里焼といった陶磁器など、多くの優れた伝統工芸品があります。その良さをより多くの方に知っていただけるよう、国内外のデザイナーや伝統工芸事業者と連携。現在の生活様式に合わせた新たな商品・作品の開発や、新規販路開拓、ふるさと納税返礼品としての紹介などを行っています。また、オンラインショップの運営やSNS等での情報発信などを通じてつくり手とつかい手をつなぎ、品質の良いものを日常に取り入れることで、日々の暮らしや気持ち豊かになる喜びを、たくさんの方にお届けしたいと願っています。



佐賀事務所長
三好信子さん

わたしたちの強み

海外にも数多くの拠点があるため、佐賀で培った地域創生事業のノウハウを活かし、将来的には世界に活動を広げていけると考えています。

県内市町・CSOと連携するなら

規模や予算などに応じて、それぞれができることに取り組みながら協力しあい、より多くの人に佐賀の伝統工芸の良さを伝えていきたいです。



佐賀の伝統工芸を応援し、
日々の暮らしや気持ちを豊かに

わたしたちの強み

海外のスタッフや佐賀の高校生、地元の方として、実際に現地で役立つ新たな技術や解決法を生み出しています。

県内市町・CSOと連携するなら

地域の人とのつながりを広げて、自然豊かな佐賀で培われた知識や資源をより多く見つけ、海外支援に活かしていきたいです。

紛争の影響を受けた地域で暮らす、弱い立場の人達の支援活動を行うテラ・ルネッサンスでは、学校での平和教育や一般の方に向けた「テラ・カフェin佐賀」といった活動に加え、佐賀発の実践的グローバル人財育成事業として、東明館高等学校・探究コースの子ども達と、現地の問題を解決するためのプロジェクトを進めています。例えば、地元の農家さんや専門家の知恵を活かした、コンポストと竹を使った農業肥料の開発や、電力不足解消のための圧力発電装置の開発など、カンボジアやウガンダの自立支援につながる研究に取り組み、現地スタッフと連携して実行を計画しています。地域や自らの「知恵」を活かして解決策を考えることが、国内外の社会問題を身近なものとして捉えるきっかけとなり、大きな「社会の変化」につながることを願って活動しています。



佐賀から生まれた「知恵」を活かして 世界の問題解決を目指す



詳しくはこちら！



認定特定非営利活動法人ブリッジフォースマイル

児童養護施設や里親家庭などで生活する子どもたちが、18歳を迎え、社会に巣立つ際に直面するさまざまな課題を乗り越えるためのサポートを行っています。

佐賀県佐賀市駅南本町5-5 サンシャインM506号室 TEL0952-26-8166

親からの虐待やさまざまな理由から、親を頼れる環境にいないという子どもたちが、18歳を迎えて保護施設や里親家庭から巣立つ際に、社会で安心して暮らしていくけるようサポートを行っています。私たちにとっては「当たり前」の経験がなく、宅配の受け取り方や電話対応なども分からないという子どもも少なくありません。そのため、巣立ちを控えた高校3年生を対象に、半年に渡る準備セミナー「巣立ちプロジェクト」では、ボランティアの方が引越しの手続きや金銭管理の方法、生活に関わる知識などを教えています。また、巣立ち後も頼れる実家のような居場所となる「さごこんね」の運営や、社会人となった子どもたちへの定期的な連絡も行っています。子どもたちを迎える企業や地域社会の理解を深め、みんなが安心して暮らせる社会につなげていきたいと考えています。



佐賀事務局 スタッフ 福島めぐみさん



親を頼れない子ども達が 社会へと羽ばたくサポートを



詳しくはこちら！



特定非営利活動法人テラ・ルネッサンス

世界の紛争地域で暮らす人々の教育・生活支援をはじめ、国内での平和講演や啓発活動、地域や教育機関と連携したグローバル人財育成指導などを行っています。

佐賀県佐賀市呉服元町2-15 COTOCO215 TEL080-4415-5728



佐賀事務所 スタッフ 佐々木純哉さん

わたしたちの強み

学生の頃から長期的なコミュニケーションを積み重ね、子どもたちが社会に出た後も、安心して頼れる居場所として親しまれています。

県内市町・CSOと連携するなら

行政窓口での案内や学校との連携などを推進し、厳しい状況に置かれている子どもたちへの、企業や地域社会の理解と協力を広げていきたいです。

詳しくはこちら！



一般社団法人子ども宅食応援団

生活が困窮している子育て家庭に、定期的は無償で食品をはじめ、日用品などをお届けする「子ども宅食」というアウトリーチ活動を行っています。
佐賀県佐賀市呉服元町2-15 COTOCO215 TEL070-1532-9872



身近にある子どもたちの貧困に 寄り添い、未来をサポート

今、日本では子ども7人のうち1人が貧困状態であると言われております。つまり1クラスあたり3〜4人の子どもが、明日の食事や生活に困窮していることになるのです。わたしたち「子ども宅食応援団」は、そうした子育て家庭に、無償で食料品や日用品、文房具などをお届けする支援を行っています。また、物を届けるだけでなく、そこから信頼関係を築き、それぞれのご家庭の不安な思いや問題点をお伺いして、一緒に解決方法を探し、一歩を踏み出すお手伝いをしています。さらに、LINEを使った様々な情報のアナウンスなど、必要な支援が行き届くためのサポートも行っていきます。佐賀は「子ども宅食」に取り組む団体が8団体と多いため、今後は連携を強めて、支援の輪をより大きく広げていきたいと考えています。

わたしたちの強み

外に出られずに孤立している人や、自ら声をあげられない人たちにも寄り添い、生活改善や不安解消に努めています。

県内市町・CSOと連携するなら

貧困家庭の根本的な解決には、行政の力がが必要です。わたしたちはまずその支援にたどり着けるよう、日々のサポートに取り組んでいきます。

特定非営利活動法人日本レスキュー協会

「犬とともに社会に貢献する」を理念とし、災害救助犬(レスキュードッグ)やセラピードッグの育成、動物福祉事業を行っています。
佐賀県佐賀市水ヶ江3-10-23 2F TEL0952-26-3988

詳しくはこちら！



災害時に人間の一千万倍以上優れているといわれる嗅覚で捜索活動を行う「災害救助犬」や、人の心に寄り添う「セラピードッグ」の育成や派遣、更には動物たちの地位や生活の質の向上を図り、人と犬達が共生できる社会を目指す「動物福祉」を行う「日本レスキュー協会」。「災害救助犬」の被災地への派遣や「セラピードッグ」の派遣、復旧イベントなどの実施により、多くの人や犬・猫の心と身体を救ってきました。2018年に本部のある兵庫県から新しい拠点として佐賀支部が誕生し、2022年1月末(グランドオープン)は4〜5月予定)には人と動物、社会を繋ぐ日本最大級の共生拠点が完成予定です。九州圏での災害に備えて、この拠点が窓口となり、県内外とのネットワークを作ることで、必要な場所へ「災害救助犬」や「セラピードッグ」を派遣や「動物福祉」を行いやすい環境を整えていきます。

わたしたちの強み

人の身体と心を救うため、災害救助犬やセラピードッグといった犬の育成や派遣など、災害への専門的な備えを行っています。

県内市町・CSOと連携するなら

それぞれの団体と打ち合わせを繰り返し、よりつながりを強くして佐賀県の防災力の強化につなげたいと考えています。



犬とともに人に寄り添い、 犬に寄り添う社会を目指して



佐賀県支部 職員
原田 亮さん



一般社団法人日本カーシェアリング協会

寄付された車を、災害時はもちろん、平時の支え合いに活かす活動を行っています。宮城県石巻市でスタートした仕組みは、佐賀県をはじめ、全国へ拡大中です。

佐賀県武雄市東川登町大字永野6766-1 小山路案内 TEL 070-1143-7799

九州支部 スタッフ

大久保周正さん 江口康成さん

日本カーシェアリング協会は、寄付で集めた車を活かして地域に支え合いの仕組みをつくる活動を行っています。きっかけは、2011年の東日本大震災。被害を受けた宮城県石巻市で、「生活に欠かせない車を失った人々の生活を元に戻したい」という想いからスタートしました。佐賀での活動は、2019年8月豪雨の際に車の無償貸出しを武雄で行ったことが始まりでした。このことがきっかけとなり翌年に九州支部を設立しました。2020年・2021年の豪雨では九州での災害拠点として、災害の起きた地域に車をいち早く届けることができました。災害支援活動の他にも寄付車を活かして、生活困窮者やNPO向けの格安カーリース、車をつかった地域の支え合い活動づくりのお手伝い（コミュニティ・カーシェアリング）などに取り組んでいます。

わたしたちの強み

車に関する様々な相談に乗れることが私たちの強みです。車の寄付も募集中です。

県内市町・CSOと連携するなら

県内CSOさんの活動車両としてのカーリース（半年～）なども行っています。災害時に返却いただけるなら特別安くご利用いただけます。気軽にご相談ください。



車をシェアして、助け合い、支え合う社会を目指す。



詳しくはこちら！



認定NPO法人市民福祉団体全国協議会

全国各地の福祉系団体と行政機関の間に立ち、「優しい福祉のある地域社会づくり」を推進し、地域交流の拠点として地域課題の解決を目指しています。

佐賀県佐賀市唐人2-5-15 2F TEL 0952-37-1007

NPO団体の現場の「声」を「翻訳」、言語化し、行政機関へ届ける福祉系・介護系中間支援団体「認定NPO法人市民福祉団体全国協議会」は、介護保険制度という境界を越えて、「優しい福祉のある地域社会」を目指しています。地域ごとのネットワークを駆使して、市民活動団体や福祉団体同士の連携の協力や団体の設立・運営のための支援、団体の人材育成、福祉活動や福祉に関わる情報発信のほか、災害支援や高齢者、障害者、被災者などの居住支援など「市民協」の活動は多岐に渡ります。西日本に拠点としては、2020年に設置された九州支部では、福祉系・介護系団体の「どうしたい」をカタチにするため、それぞれの課題に向き合い、多面的な支援を行っています。

わたしたちの強み

中間支援団体としてNPO団体との多くの強いつながりを持っているため、異なる支援活動を行う団体同士をつなぐことができます。

県内市町・CSOと連携するなら

子ども支援、災害支援、外国人支援など、様々な分野の団体と連携し、多世代を支援できるモデル構築を行いたいのです。



九州支部 支部長 杉本 創さん



詳しくはこちら！



制度という枠を越えて、優しい福祉のある地域社会に

わたしたちの強み

“高校と地方創生”などの学校教育に関する長年蓄積されたノウハウから、持続できる仕組み作りができます。

県内市町・CSOと連携するなら

子ども達の教育に関心がある団体とつながり、一緒に協働しながら、地域と高校の未来へのバトンを繋ぎたいです。

地方にある高校を「魅力化」することが、意志ある若者の育成につながり、その地域が魅力化されていく。さらに、将来的に若者が戻ってくる地域にするため、高校や自治体が連携し、今まで長年培ったノウハウで仕組み作りを行う「地域・教育魅力化プラットフォーム」。都会では味わえない、地方ならではの教育環境や生活に触れる「地域みらい留学」や、教育コーディネーターの採用や育成などを行っています。自治体・地域と高校が連携し、生徒一人ひとりが自らの意志で選択した進路の実現、それぞれの地域で自活していくような人の還流を起すことを目指しています。2021年に誘致された佐賀支部では、参画した有田工業高校と連携し、県だけでなく「町」という単位で地域と協働しながら、「魅力化」に努めています。



詳しくはコチラ!



一般財団法人地域・教育魅力化プラットフォーム

「意志ある若者にあふれる、持続可能な地域・社会をつくる」をビジョンに、社会に開かれた教育を行うことで、地域の教育から社会を変える活動をしています。佐賀県佐賀市三瀬村藤原3813-3 TEL 070-8354-0553



高校の魅力化が
意志ある若者の育成、
地域の魅力へつながる。



地域みらい留学事業
(佐賀事務所)
門脇享平さん



詳しくはコチラ!



photo by Naito Junji

特定非営利活動法人ジャパンハート

ミャンマー、カンボジアなどの東南アジアを中心に活動する日本の国際医療ボランティア団体。国内ではへき地・離島への医療者派遣、災害支援などの活動を展開しています。佐賀県伊万里市東山代町東大久保1761-1 TEL 03-6240-1564 (広報・ファンドレイジング部)

「医療の届かないところに医療を届ける」という使命を掲げ、ジャパンハートが活動を始めたのは2004年。以来、ミャンマー、カンボジア、ラオスなど東南アジアの国々で無償で医療を提供、目の前にいる人の命に寄り添う活動を続けてきました。日本国内でも東日本大震災や熊本地震、令和2年7月の熊本豪雨などの被災地で医療支援・災害支援や、コロナ禍においてクラスターの発生した病院・介護福祉施設などに医療チームの派遣も続けています。2020年には、伊万里市に佐賀拠点を開設。佐賀県内での感染症や自然災害などの緊急事態発生時支援に素早く連携できる体制を整えました。県内では今後、医療従事者のための研修なども予定しています。「すべての人が、生まれてきてよかったと思える世界を実現する」。ジャパンハートはこのビジョンの下、今後も地道に活動を続けていきます。

わたしたちの強み

機動性と柔軟性がわたしたちの強みです。海外で医療物資がない中、知恵を絞り解決した経験で国内でも活かしたいと思います。

県内市町・CSOと連携するなら

拠点を設立したことで活動の認知が広がり、地域の災害時に素早く連携ができるようになりました。行政の緊急時に、利用してほしいと考えています。



副事務局長 iER事業部長
高橋茉莉子さん



海外から国内まで、
医療が届かない地域をなくしたい。